

# 川口市の学校給食



毎月19日は、食育の日



川口市教育委員会  
川口市学校栄養士研究会  
中 学 校

## 学校給食の意義と役割

学校給食は貧困児童のために昼食を提供したのが始まりですが、現在は単に昼食を提供するだけではありません。学校給食法には、学校給食が健康教育の重要な役割を担うことが明記されています。学校給食を通して、子供たちが生涯にわたる健康づくりの基礎知識を身に付け、食事のマナーや集団生活のルールを学び、また、感謝の心を育むなどの教育活動が行われています。



## 食に関する取組について

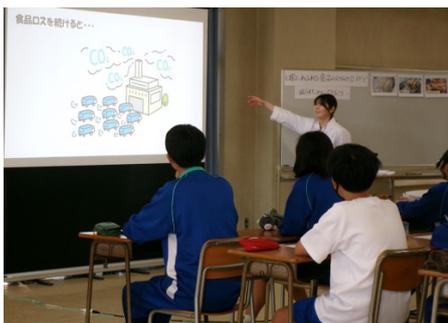
食に関して正しい理解と、望ましい食習慣を身に付けるために、学級担任と栄養教諭・学校栄養職員によるチーム・ティーチング授業や、家庭や地域と連携した指導も実施されています。

また、体験活動として生徒が給食で使用する食材を畑で育てたり、コミュニケーション能力を養うために地域の方との交流活動などを行っています。

食育研究授業（里中学校）

メニューコンクール

学校ファームの取組



## 1月24日～30日 全国学校給食週間

学校給食は、学校にお弁当を持って来られない児童のために、明治22年に山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で始まりました。第二次世界大戦で中断されましたが、昭和21年12月24日に再開され、その日が「学校給食感謝の日」となりました。その後、12月24日は冬休みと重なるため1カ月後の1月24日から1月30日の1週間を『全国学校給食週間』としました。

※「川口市の学校給食」を紹介するパネル展示を令和7年1月24日（金）～30日（木）まで、川口市役所第一本庁舎多目的スペースにて行います（土日除く）。また、学校給食でも給食週間に合わせ、特色ある献立を取り入れています。